

# イトbuilder

## データベース作成ガイドブック

第 1.6 版 2023 年 4 月 20 日改訂

株式会社  
中電シティーアイ

## ■変更履歴

版数	変更日	変更内容
1.0	2016/11/1	初版発行
1.1	2017/8/1	イット builder 提供 API の追加
1.2	2020/2/20	データの一括登録に関する補足事項の追加
1.3	2020/11/20	2020 年度バージョンアップに伴う修正
1.4	2021/11/25	データの一括登録・更新・削除・ダウンロードの記載を改訂
1.5	2022/4/20	2022 年度バージョンアップに伴う修正
1.6	2023/4/20	2023 年度バージョンアップに伴う修正

## 目次

1	はじめに	1
1.1	本書の位置付	1
1.2	データベースとは	1
2	データベース設定	2
2.1	データベース一覧	2
2.1.1	操作方法	2
2.2	データベースの新規作成	4
2.2.1	操作方法	4
2.3	データベースの検索	5
2.3.1	操作方法	5
2.4	データベースの削除	6
2.4.1	操作方法	6
2.5	データベースのコピー	7
2.5.1	操作方法	7
2.6	データベースの全般設定	8
2.6.1	操作説明	8
2.6.2	項目説明	9
2.7	データ項目の追加	10
2.7.1	操作方法	10
2.7.2	項目説明	11
2.8	データ項目の変更	12
2.8.1	操作方法	12
2.9	項目種別説明	13
2.9.1	共通項目	13
2.9.2	テキスト（1行）	13
2.9.3	テキスト（複数行）	15
2.9.4	数値	16
2.9.5	日付	17
2.9.6	択一選択	18
2.9.7	複数選択	21
2.9.8	ファイル	22

2.9.9	自動連番	23
2.10	データ項目の削除	28
2.10.1	操作方法	28
2.11	データ項目のコピー	29
2.11.1	操作方法	29
2.12	データ項目のインポート	30
2.12.1	操作方法	30
2.13	データ項目の並順更新	33
2.13.1	操作方法	33
2.14	データの一括登録	34
2.14.1	操作方法	34
2.15	データの一括更新	38
2.15.1	操作方法	38
2.16	データの一括削除	40
2.16.1	操作方法	40
2.17	一括処理状況確認	42
2.17.1	操作方法	42
2.17.2	項目説明	43
2.18	データのダウンロード	46
2.18.1	操作方法	46
2.19	アクセス許可	48
2.19.1	操作方法	48
2.20	チューニング	49
2.20.1	操作方法	49
2.21	関連リンク	50
2.21.1	操作方法	50

## 1 はじめに

### 1.1 本書の位置付

想定読者：アプリ作成者

本書は、イット builder のデータベースの作成方法について示す。

### 1.2 データベースとは

データベースとは、一定の形式で作成、管理されたデータの集合のことである。イット builder におけるデータベースには、以下の機能が提供される。

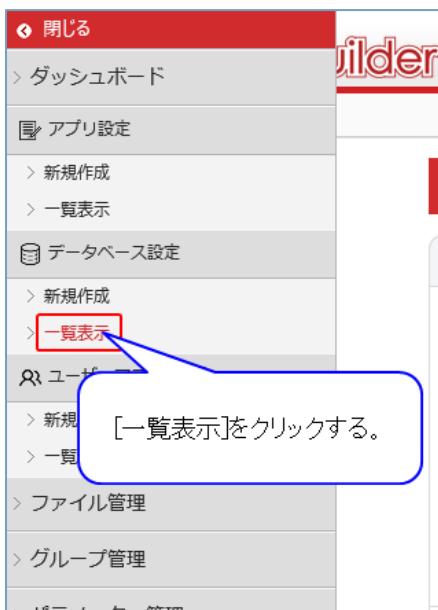
- データベースの作成機能
- オンライン画面からのデータのダウンロード、一括登録/更新、一括削除機能
- 他グループに対するデータベースのアクセス権限の付与機能  
(ただし、システム管理者によって公開設定が許可されているグループのみ)
- インデックスの作成

## 2 データベース設定

### 2.1 データベース一覧

#### 2.1.1 操作方法

- メニューからデータベース設定の[一覧表示]をクリックする。



- データベース一覧が表示される。

ID	データベース名	アプリ利用有無	メモ
19	テスト5	無	
18	テスト4	無	
17	テスト3	無	
16	情報連携（コードマスター）	あり	
15	情報連携（受付情報）	あり	
14	コードマスター	あり	
13	テスト2	あり	
12	テスト	あり	
11	関連データ	あり	
10	テンプレート検証用	あり	

19 件中 1 から 10 まで表示

前 1 2 次

- ・プルダウンで1ページあたりに表示する件数を指定する。

データベース一覧

削除 新規作成

10 件表示

アプリ利用有無 メモ

無 無

無 無

プルダウンで1ページあたりに表示する件数を指定する。



This screenshot shows a database list interface. At the top, there are buttons for 'Delete' (削除) and 'New Creation' (新規作成). Below these are two dropdown menus. The first dropdown is set to '10' and has a label '件表示' (Item Display) next to it. A blue box and an arrow point to this dropdown. The second dropdown is labeled 'アプリ利用有無' (Application Use Status) and has a 'メモ' (Memo) button next to it. Below the dropdowns is a table with two rows. Each row has a checkbox, a number (9 or 8 or 7), a link (データベース, 社員マスター, サンプル), and two status columns ('無' or 'あり'). A blue box and an arrow point to the text 'プルダウンで1ページあたりに表示する件数を指定する.' (Specify the number of items to display per page using the dropdown menu). The table has a header row with columns for checkbox, number, link, status 1, and status 2.

- ・遷移先をクリックし、他のページに遷移する。

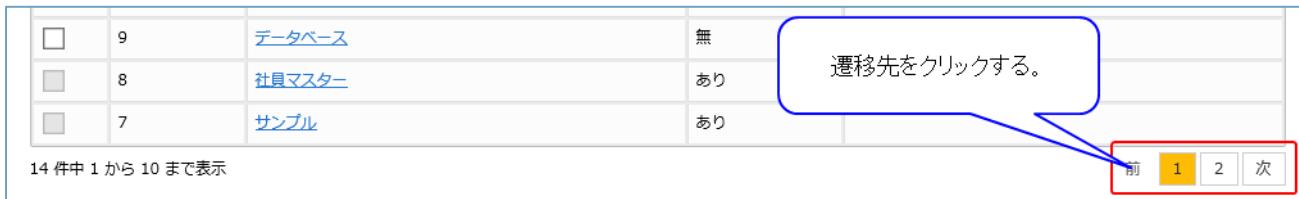
14 件中 1 から 10 まで表示

データベース 9  
社員マスター 8  
サンプル 7

無 あり あり

遷移先をクリックする。

前 1 2 次



This screenshot shows a database list with 14 items, displaying items 1 to 10. The table has columns for checkbox, number, link, status 1, and status 2. A blue box and an arrow point to the text '遷移先をクリックする.' (Click the destination to switch pages). At the bottom right, there are navigation buttons labeled '前' (Previous), '1' (Page 1), '2' (Page 2), and '次' (Next). The '1' button is highlighted with a yellow box and an arrow.

## 2.2 データベースの新規作成

### 2.2.1 操作方法

- メニューからデータベースの[新規作成]をクリックする。



- データベース名を入力し、[新規作成]をクリックする。

A screenshot of a 'Database New Creation' dialog box. It has a red circular icon with a white 'd' on the left. The title bar says 'データベース新規作成'. Below it is a form with a 'データベース名' (Database Name) field containing 'sampledb2' with a red '必須' (Required) label to its left. There are '新規作成' (New Creation) and 'キャンセル' (Cancel) buttons at the bottom. The '新規作成' button is highlighted with a red box. A blue callout box points to this button with the Japanese text '[新規作成]をクリックする。' (Click [New Creation]). The bottom right corner of the dialog box has the text 'Copyright (C) Chuden CTI Co.,Ltd. All rights reserved.'

## 2.3 データベースの検索

### 2.3.1 操作方法

- ・検索内容を入力する。

データベース一覧

削除 新規作成

10 件表示

ID	データベース名	アプリ利用有無	メモ
20	<a href="#">sampledb2</a>	あり	
17	<a href="#">入力チェック</a>	無	

検索内容を入力する。

- ・検索結果が表示される。

データベース一覧

削除 新規作成

10 件表示

ID	データベース名	アプリ利用有無	メモ
20	<a href="#">sampledb2</a>	あり	
16	<a href="#">sampleDB</a>	あり	
13	<a href="#">sample</a>	あり	

検索結果が表示される。

sample

3 件中 1 から 3 まで表示 (全 14 件より抽出) 前 1 次

- ・[x]をクリックし、検索条件を破棄する。

データベース一覧

削除 新規作成

10 件表示

ID	データベース名	アプリ利用有無	メモ
20	<a href="#">sampledb2</a>	あり	
16	<a href="#">sampleDB</a>	あり	

sample

[x]をクリックする。

## 2.4 データベースの削除

### 2.4.1 操作方法

- 削除するデータベースのチェックボックスをクリックする。

The screenshot shows a database list screen with a table of 14 entries. The first entry, 'sampledb2' (ID: 19), has its checkbox selected, indicated by a red border. A blue callout box points to this selected checkbox with the text 'チェックボックスをクリックする。' (Click the checkbox). The table has columns for ID, Database Name, Application Use Status, and Memo. The application use status is '無' (None) for most entries, except for 'sample' (ID: 13) and 'sample' (ID: 8) which are 'あり' (Yes). The memo column is empty for all entries.

ID	データベース名	アプリ利用有無	メモ
19	sampledb2	無	
13	sample	あり	
12	サンプル	あり	
10	caltes	無	
9	データベース	無	
8	社員マスター	あり	
7	サンプル	あり	

※アプリで使用中のデータベースは削除できません。

- [削除]をクリックする。

The screenshot shows the same database list screen as the previous one, but now the '削除' (Delete) button in the top toolbar is highlighted with a yellow background and a blue border. A blue callout box points to this button with the text '[削除]をクリックする。' (Click the [Delete] button). The first entry, 'sampledb2' (ID: 19), still has its checkbox selected. The table structure is identical to the previous screenshot.

ID	データベース名	アプリ利用有無	メモ
19	sampledb2	無	
17	入力チェック	無	
16	sampleDB	無	
15	db	無	

## 2.5 データベースのコピー

### 2.5.1 操作方法

- ・コピーするデータベースのチェックボックスをクリックする。

データベース一覧

削除 コピー 新規作成

10 件表示 検索

ID	データベース名	アプリ利用有無	メモ
18	テスト4	無	
17	テスト3	無	
16		あり	
15		あり	
14	コードマスター	あり	
13	テスト2	あり	

- ・[コピー]をクリックする。

データベース一覧

削除 コピー 新規作成

10 件表示 検索

ID	データベース名	アプリ利用有無	メモ
<input checked="" type="checkbox"/> 18	テスト4	無	
<input checked="" type="checkbox"/> 17	テスト3	無	
<input type="checkbox"/> 16	情報連携 (コードマスター)	あり	

- ・データベース名を入力し、データを含むかどうかを選択し、[コピー]をクリックする。

既存データベースコピー

データベース

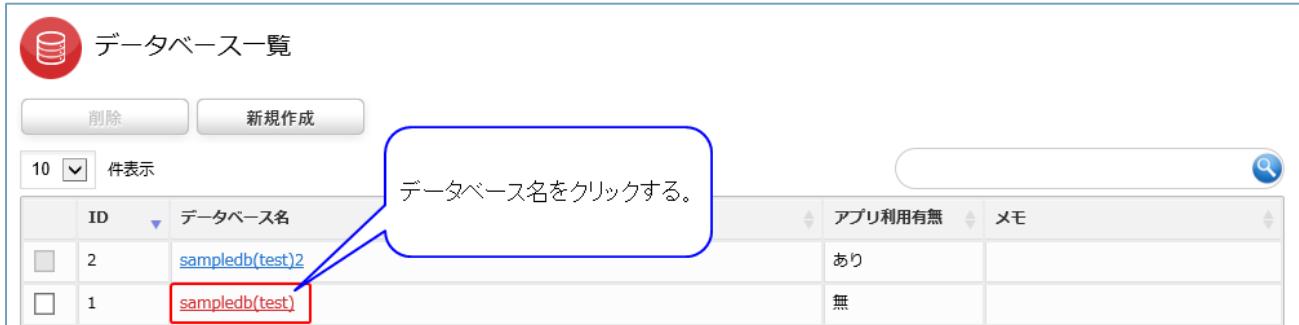
17 テスト3	コピー テスト3	<input checked="" type="checkbox"/> データを含む
18 テスト4	コピー テスト4	<input checked="" type="checkbox"/> データを含む

コピー 戻る

## 2.6 データベースの全般設定

### 2.6.1 操作説明

- ・データベース名をクリックする。



データベース一覧

削除 新規作成

件表示

10 データベース名 アプリ利用有無 メモ

ID	データベース名	アプリ利用有無	メモ
2	sampledb(test)2	あり	
1	sampledb(test)	無	

データベース名をクリックする。

sampledb(test)

- ・[全般]をクリックする。



データベース設定

1 sampledb(test)

データ件数: 0 -- 更新

全般 データ項目 データ チューニング 関連リンク

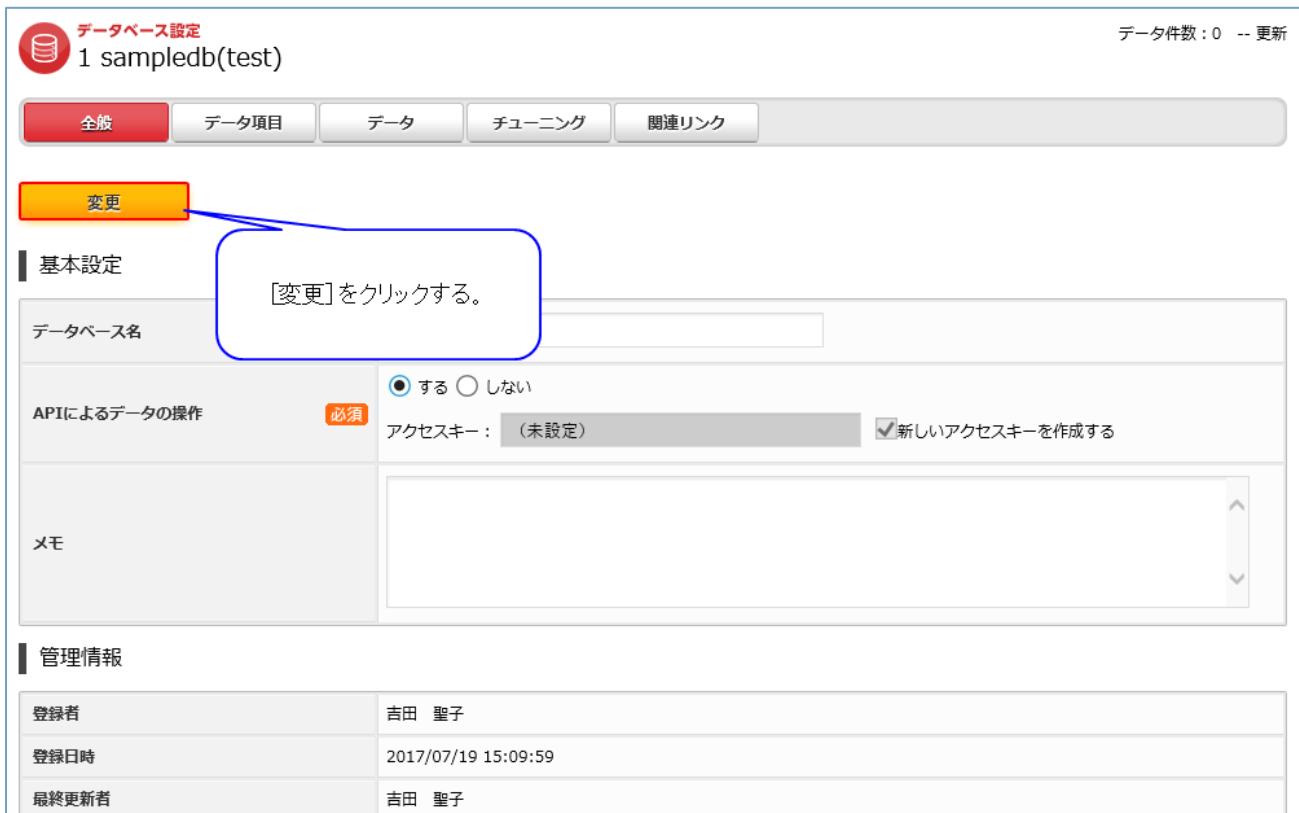
+ 追加

[全般]をクリックする。

D001

- ・データベース全般設定が表示される。

変更する場合は、各項目を入力し、[変更]をクリックする。



データベース設定

1 sampledb(test)

データ件数: 0 -- 更新

全般 データ項目 データ チューニング 関連リンク

変更

基本設定

データベース名

APIによるデータの操作 必須

する しない

アクセスキー: (未設定) 新しいアクセスキーを作成する

メモ

[変更]をクリックする。

管理情報

登録者	吉田 聖子
登録日時	2017/07/19 15:09:59
最終更新者	吉田 聖子

## 2.6.2 項目説明

項目名	変更可否	説明
<b>基本設定</b>		
データベース名	可	データベースの名称。
API によるデータの操作	可	イット builder 提供 API により、データベースのデータを操作（参照、登録、更新、削除）できるようにするかを設定する。
<input checked="" type="checkbox"/> 新しいアクセキーを作成する	可	データベース設定を変更した際に、新しくアクセキーを作成するかを設定する。
メモ	可	備忘録として使用する。
<b>管理情報</b>		
登録者	不可	登録した利用者名。
登録日時	不可	登録した日時。
最終更新者	不可	最後に更新した利用者名。（システムで自動更新）
最終更新日時	不可	最後に更新した日時。（システムで自動更新）

## 2.7 データ項目の追加

### 2.7.1 操作方法

- ・データベース名をクリックする。  
(「2.5.1 操作方法」参照)
- ・[追加]をクリックする。



- ・追加したいデータ項目をクリックする。



## 2.7.2 項目説明

項目名	説明
テキスト(1行)	1行で表現できるテキストのデータ項目を追加する。
テキスト(複数行)	複数行にわたるテキストのデータ項目を追加する。
数値	数値のデータ項目を追加する。
日付	日付のデータ項目を追加する。
択一選択	複数ある選択肢から1つ選択するデータ項目を追加する。
複数選択	複数ある選択肢から1つ以上選択するデータ項目を追加する。
ファイル	各種ファイルを格納可能なデータ項目を追加する。
自動連番	イット builder が自動で連番を挿入するデータ項目を追加する。
<b>よく使う設定済みデータ項目</b>	
氏名	漢字氏名用に設定されたテキスト(1行)を追加する。
氏名(ふりがな)	氏名のふりがな用に設定されたテキスト(1行)を追加する。
郵便番号	郵便番号用に設定されたテキスト(1行)を追加する。
都道府県	都道府県の択一選択を追加する。
市区町村	市区町村用に設定されたテキスト(1行)を追加する。
番地	番地用に設定されたテキスト(1行)を追加する。
アパート・マンション名・号室	アパート・マンション名・号室用に設定されたテキスト(1行)を追加する。
性別	性別の択一選択を追加する。
電話番号	電話番号用に設定されたテキスト(1行)を追加する。
メールアドレス	メールアドレス用に設定されたテキスト(1行)を追加する。
URL	URL用に設定されたテキスト(1行)を追加する。

## 2.8 データ項目の変更

### 2.8.1 操作方法

- データベース名をクリックする。  
(「2.5.1 操作方法」参照)
- データ項目をクリックする。

データベース設定  
20 sampledb2

データ件数: 0 -- 更新

全般 データ項目 データ アクセス許可 チューニング 関連リンク

+ 追加 削除 コピー 並順更新

データ項目	項目名	必須	データ
D001 テキスト (1行) テキスト (1行)	D001	必須	テキスト (1行)
D002 テキスト (複数行) テキスト (複数行)			

項目リンクをクリックする。

各項目を入力し、[変更]をクリックする。

データベース設定  
20 sampledb2

データ件数: 0 -- 更新

全般 データ項目 データ アクセス許可 チューニング 関連リンク

+ 追加 削除 コピー 並順更新

変更

データ項目	項目ID	項目種別	変更
D001 テキスト (1行) テキスト (1行)	D001	テキスト (1行)	
D003 テキスト (複数行) テキスト (複数行)	D003	テキスト (複数行)	
D004 数値 数値	D004	数値	
D005 日付 日付	D005	日付	
D006 択一選択 択一選択	D006	択一選択	

[変更]をクリックする。

## 2.9 項目種別説明

### 2.9.1 共通項目

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	各項目を識別するための値。（イット builder が自動設定）
項目種別	不可	項目のデータ種別。
項目名	可	項目の名称。
必須/任意	可	当該項目の入力が必須かどうか設定する。

### 2.9.2 テキスト（1行）

項目ID	D001	
項目種別	テキスト（1行）	
項目名	必須	テキスト（1行）
必須/任意	必須	<input type="radio"/> 必須 <input checked="" type="radio"/> 任意
重複	必須	<input type="radio"/> 不可 <input checked="" type="radio"/> 可
書式	指定無し ▾	
文字種類	指定無し ▾	
文字数	3	～

項目名	変更可否	説明
重複	可	このデータ項目において重複データの存在を許可するか設定する。
書式	可	<p>当該項目に入力可能な文字の書式を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 指定なし 全ての書式の文字列が入力可能に設定する。</li><li>● 郵便番号 半角数字 7 文字が入力可能に設定する。</li><li>● 電話番号 0 から開始する半角数字 10 文字または 11 文字が入力可能に設定する。</li><li>● メールアドレス 以下のメールアドレスの書式に一致するものを入力可能に設定する。<ul style="list-style-type: none"><li>・ 5 文字以上 255 文字以下である</li><li>・ 「@」または「.」が 1 文字目や最終文字でない</li><li>・ 「@」が 1 個である</li><li>・ 「.」を 1 つ以上含み、「@」以降で連続していない</li><li>・ 「@」の直後が「.」でない</li><li>・ 「@」より前の部分が半角英数および「!#\$%&amp;'*+-./?^_`{ }~」の文字のみで構成されている</li><li>・ 「@」より後の部分が半角英数および「-.」の文字のみで構成されている</li></ul></li><li>● URL 「http://」または「https://」から開始する 1000 文字以下の文字列を入力可能に設定する。</li></ul>
書式(続き)	可	<ul style="list-style-type: none"><li>● 正規表現 登録者が正規表現を使用して入力可能な文字の書式を設定する。 (例)「[0-9]*」と設定した場合、半角数字のみ入力可能になる。</li></ul>
文字種類	可	<p>書式が「指定なし」の時、入力可能な文字の種類を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 指定なし 全ての文字が入力可能に設定する。</li><li>● 全角かな ひらがなののみ入力可能に設定する。</li><li>● 全角カナ 全角カタカナのみ入力可能に設定する。</li><li>● 半角カナ 半角カタカナのみ入力可能に設定する。</li><li>● 半角数字 半角数字のみ入力可能に設定する。</li><li>● 半角英字 半角アルファベットのみ入力可能に設定する。</li><li>● 半角英数字 半角アルファベットと半角数字のみ入力可能に設定する。</li><li>● 半角英数字記号 半角アルファベットと半角数字、半角記号のみ入力可能に設定する。</li></ul>
文字数	可	当該項目に入力可能な文字数を設定する。最小値または最大値の一方のみ設定也可能。

### 2.9.3 テキスト（複数行）

項目ID	D003	
項目種別	テキスト（複数行）	
項目名	必須	テキスト（複数行）
必須／任意	必須	<input type="radio"/> 必須 <input checked="" type="radio"/> 任意
重複	必須	<input type="radio"/> 不可 <input checked="" type="radio"/> 可
文字数	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	

項目名	変更可否	説明
重複	可	このデータ項目において重複データの存在を許可するか設定する。
文字数	可	当該項目に入力可能な文字数を設定する。最小値または最大値の一方のみ設定也可能。

## 2.9.4 数値

項目ID	D004	
項目種別	数値	
項目名	必須	数値
必須／任意	必須	<input type="radio"/> 必須 <input checked="" type="radio"/> 任意
重複	必須	<input type="radio"/> 不可 <input checked="" type="radio"/> 可
書式	指定無し	
数値範囲	<input type="text"/>	～ <input type="text"/>

項目名	変更可否	説明
重複	可	このデータ項目において重複データの存在を許可するか設定する。
書式	可	<p>入力可能な数値の書式を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定なし 全ての数値を入力可能に設定する。</li> <li>● 整数 整数のみ入力可能に設定する。</li> <li>● 正規表現 登録者が正規表現を使用して入力可能な文字の書式を設定する。 (例)「[0-9]+￥. [0-9] {2}」と設定した場合、「0.00」や「543.21」のように小数第二位までの入力必須にする。</li> </ul>
数値範囲	可	当該項目に入力可能な数値の範囲を設定する。最小値または最大値の一方のみ設定也可能。

## 2.9.5 日付

項目ID	D005	
項目種別	日付	
項目名	必須	日付
必須／任意	必須	<input type="radio"/> 必須 <input checked="" type="radio"/> 任意
重複	必須	<input type="radio"/> 不可 <input checked="" type="radio"/> 可
書式	YYYY/MM/DD	
日付範囲	<input type="text"/>	～ <input type="text"/>

項目名	変更可否	説明
重複	可	重複を許可するか設定する。
書式	可	<p>入力可能な数値の書式を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● YYYY 西暦を入力可能に設定する。</li> <li>● YYYY/MM 西暦、月を入力可能に設定する。</li> <li>● YYYY/MM/DD 西暦、月、日付を入力可能に設定する。</li> <li>● YYYY/MM/DD hh 西暦、月、日付に加えて時間を入力可能に設定する。</li> <li>● YYYY/MM/DD hh:mm 西暦、月、日付に加えて時、分を入力可能に設定する。</li> <li>● YYYY/MM/DD hh:mm:ss 西暦、月、日付に加えて時、分、秒を入力可能に設定する。</li> </ul>
日付範囲	可	当該項目に入力可能な日付の範囲を設定する。最小値または最大値の一方のみ設定也可能。

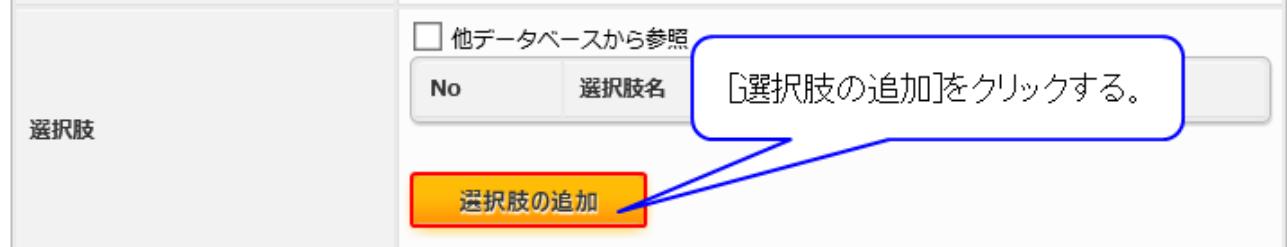
## 2.9.6 択一選択

項目ID	D006			
項目種別	択一選択			
項目名	<b>必須</b>	択一選択		
必須	<b>必須</b>	<input type="radio"/> 必須 <input checked="" type="radio"/> 任意		
選択肢	<input type="checkbox"/> 他データベースから参照 <table border="1"> <tr> <td>No</td> <td>選択肢名</td> </tr> </table>		No	選択肢名
	No	選択肢名		
選択肢の追加				

項目名	変更可否	説明
選択肢	可	<p>選択肢を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他データベースから参照する場合 他データベースの内容を参照し、その項目を選択肢として利用する。参照するデータベースの設定はアプリ設定で行う。</li> <li>他データベースから参照しない場合 [選択肢の追加]を押すと選択肢が追加される。[×]を押すと選択肢を削除する。選択肢をドラッグで並び順を変更する。</li> </ul>

### (補足) 選択肢の追加方法

- [選択肢の追加]をクリックする。



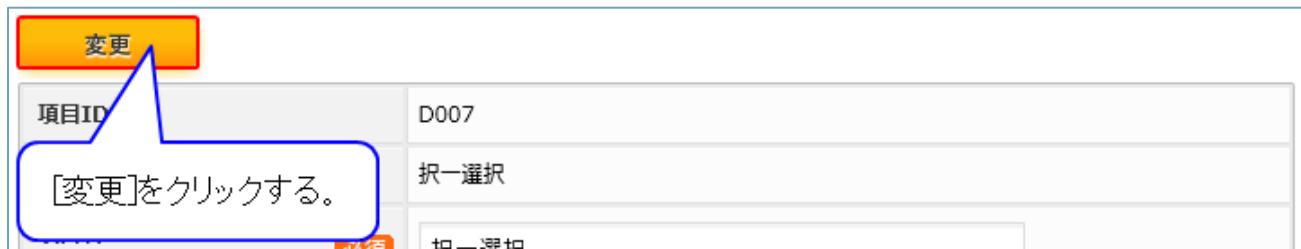
<input type="checkbox"/> 他データベースから参照 <table border="1"> <tr> <td>No</td> <td>選択肢名</td> </tr> </table>		No	選択肢名
No	選択肢名		
選択肢の追加			

- 選択肢入力欄が追加されるので、任意の選択肢を入力する。



<input type="checkbox"/> 他データベースから参照 <table border="1"> <tr> <td>No</td> <td>選択肢名</td> </tr> </table>		No	選択肢名	
No	選択肢名			
<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>		1		×
1		×		
選択肢の追加				

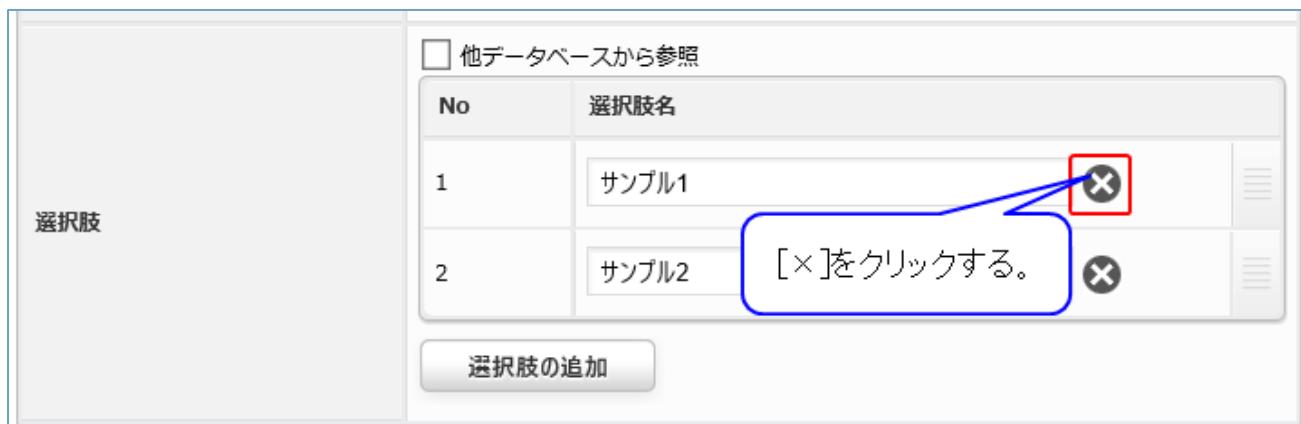
- ・[変更]をクリックする。



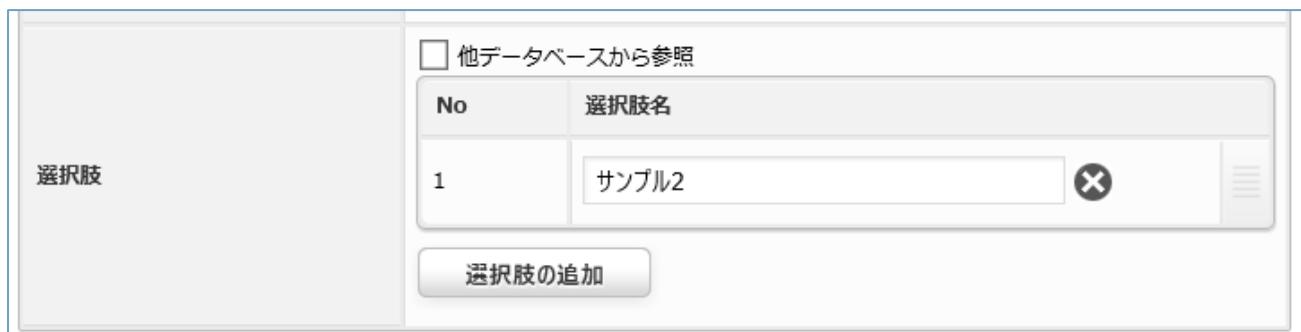
※他データベースの内容を参照して選択肢に用いる場合、他データベースから参照のチェックをオンにし、アプリ設定時に参照先のデータベース項目を設定してください。

(補足) 選択肢の削除方法

- ・削除する選択肢の[×]をクリックする。



- ・選択肢が削除される。

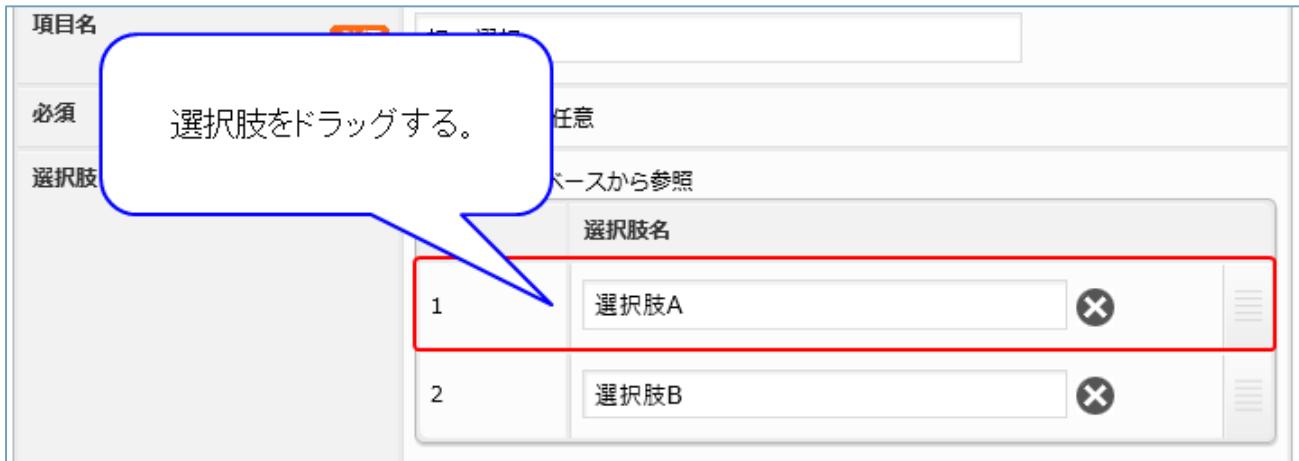


- ・[変更]をクリックする。

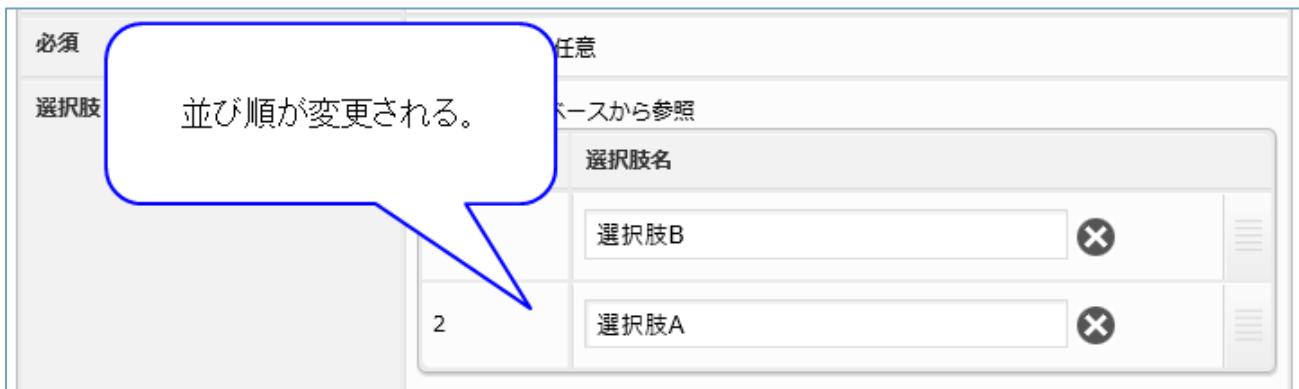
「(補足) 選択肢の追加方法」を参照。

(補足) 選択肢の順序変更方法

- 順序変更を行う選択肢をドラッグする。



- 選択肢の順序が変更される。



- [変更]をクリックする。

前ページの「(補足) 選択肢の追加方法」を参照。

## 2.9.7 複数選択

項目ID	D007					
項目種別	複数選択					
項目名	<b>必須</b>	<input type="text" value="複数選択"/>				
必須	<b>必須</b>	<input type="radio"/> 必須 <input checked="" type="radio"/> 任意				
選択数範囲	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>					
選択肢	<input type="checkbox"/> 他データベースから参照 <table border="1"> <tr> <td>No</td> <td>選択肢名</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><input type="button" value="選択肢の追加"/></td> </tr> </table>		No	選択肢名	<input type="button" value="選択肢の追加"/>	
No	選択肢名					
<input type="button" value="選択肢の追加"/>						

項目名	変更可否	説明
選択数範囲	可	選択可能な選択肢数を設定する。最小値または最大値の一方のみ設定も可能。最小値と最大値を同一に設定した場合、必ずその数だけ選択する設定にできる。
選択肢	可	選択肢を設定する。（「2.9.6 択一選択」参照）

## 2.9.8 ファイル

項目ID	D008	
項目種別	ファイル	
項目名	<b>必須</b>	ファイル
必須／任意	<b>必須</b>	<input type="radio"/> 必須 <input checked="" type="radio"/> 任意
書式	指定無し	
ファイル名文字数	<input type="text"/>	～ <input type="text"/>
ファイルサイズ(KB)	<input type="text"/>	～ <input type="text"/>

項目名	変更可否	説明
書式	可	<p>入力可能なファイル名の書式を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定なし 全てのファイルを入力可能に設定する。</li> <li>● 正規表現 登録者が正規表現を使用して入力可能なファイル名の書式を設定する。 (例) 「.*\.jpg」と設定した場合、ファイル名の末尾に「.jpg」と付くファイルのみ入力可能になります。</li> </ul>
ファイル名文字数	可	入力可能なファイル名の文字数を設定する。最小値または最大値の一方のみ設定也可能。
ファイルサイズ(KB)	可	入力可能なファイルサイズをキロバイト単位で設定する。最小値または最大値の一方のみ設定也可能。

## 2.9.9 自動連番

項目ID	D009										
項目種別	自動連番										
項目名	<b>必須</b>	自動連番									
重複	<b>必須</b>	<input type="radio"/> 不可 <input checked="" type="radio"/> 可									
自動連番桁数 (4桁~10桁)	<b>必須</b>	5									
自動連番値	<table border="1"> <tr> <td>現在値</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>次回発行番号</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>自動リセット設定</td> <td>リセットしない</td> </tr> </table>			現在値	1	次回発行番号	2	自動リセット設定	リセットしない		
現在値	1										
次回発行番号	2										
自動リセット設定	リセットしない										
連番構成	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>構成要素</th> <th>内容</th> <th>操作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>自動連番</td> <td>○○○○○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>固定半角文字列</span> <span>▼</span> <span>追加</span> </div>			No	構成要素	内容	操作	1	自動連番	○○○○○	
No	構成要素	内容	操作								
1	自動連番	○○○○○									
現在の設定でのサンプル	○○○○○										

項目名	変更可否	説明
重複	可	このデータ項目において重複データの存在を許可するか設定する。
自動連番行数 (4 行～10 行)	可	出力する連番の行数を設定する。
自動連番値	可	<p>出力する番号に関する設定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在値 最後に出力した番号。出力をしていない場合「-」が表示される。</li> <li>● 次回発行番号 次に発行する連番の開始番号。</li> <li>● 自動リセット設定 リセットしない、年毎、月毎、日毎の 4 種類から設定する。リセットする場合、リセット後の開始番号を設定する。年毎の場合は何月何日の 0:00 にリセットするか、月毎の場合は何日の 0:00 にリセットするかを設定する。日毎の場合は毎日 0:00 にリセットします。</li> </ul>
連番構成	可	<p>出力する文字列に関する設定。[追加]を押すとドロップダウンリストで選択した項目を追加する。[×]を押すと項目を削除する。（※自動連番は削除できません）右端の[≡]をドラッグで出力順を変更する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 固定半角文字列 設定した文字列をそのまま出力する。設定可能な文字は半角英数記号のみ。</li> <li>● 年(YYYY) 連番を出力した際の西暦を 4 行で出力する。</li> <li>● 月(MM) 連番を出力した際の月を 2 行で出力する。</li> <li>● 日(DD) 連番を出力した際の日付を 2 行で出力する。</li> <li>● 時(hh) 連番を出力した際の時間を 2 行で出力する。</li> <li>● 分(mm) 連番を出力した際の分を 2 行で出力する。</li> <li>● 秒(ss) 連番を出力した際の秒を 2 行で出力する。</li> </ul>
現在の設定でのサンプル	不可	<p>現在の設定で連番出力を行った際の文字列サンプル。連番部分は○に置き換えて表示される。</p> <p>(例) 次回発行番号が「2」のとき、表示が「○○○○○」の場合、出力される連番は「00002」となる。連番構成で年(YYYY)を指定し、固定半角文字列で「-」と指定し、表示が「YYYY-○○○○○」となっている場合、次回発行番号が「2」かつ 2016 年に 出力を行った場合は「2016-00002」が出力される。</p>

(補足) 連番構成要素の追加方法

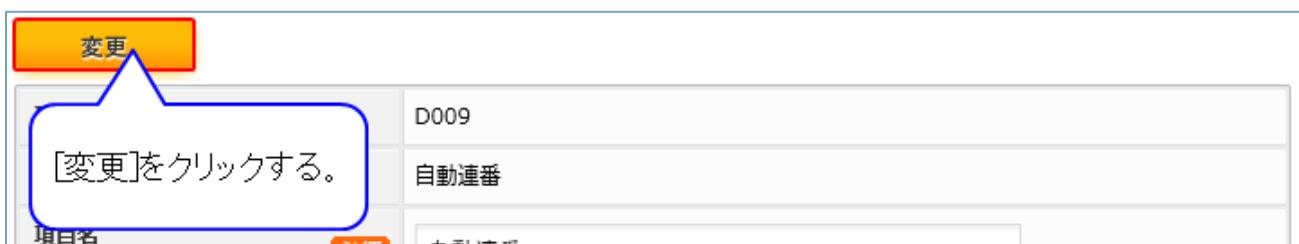
- 追加する構成要素を選択し[追加]をクリックする。



- 構成要素が追加される。

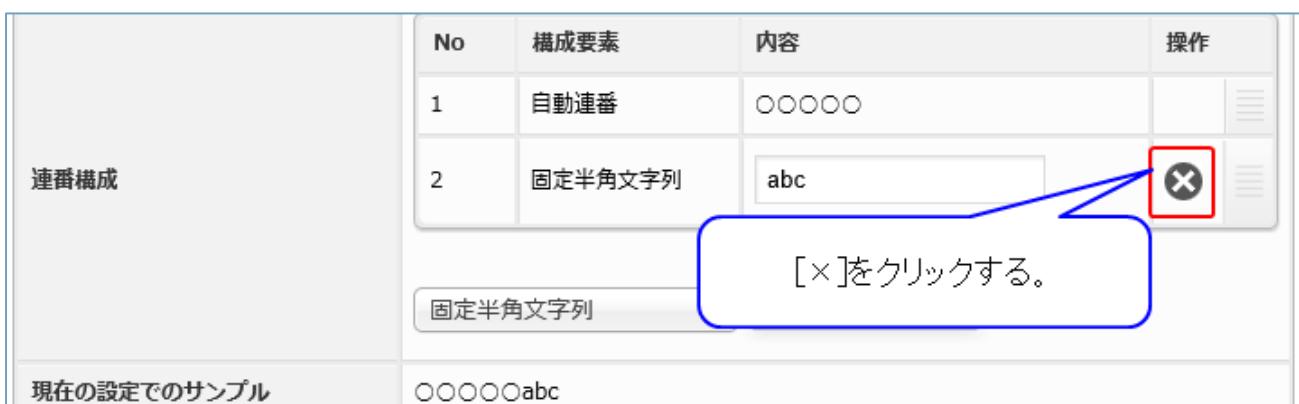


- [変更]をクリックする。



(補足) 連番構成要素の削除方法

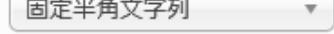
- 削除する構成要素の[×]をクリックする。



- 項目が削除される

連番構成

No	構成要素	内容	操作
1	自動連番	○○○○○	

**固定半角文字列**  **追加**

- ・[変更]をクリックする

「(補足) 連番構成要素の追加方法」を参照

(補足) 連番構成要素の並び順変更方法

- ・表示位置を変更する構成要素をドラッグする。

連番構成

No	構成要素	内容	操作
1	自動連番	○○○○○	
2	固定半角文字列	abc	

データ項目をドラッグする。  
文字列  **追加**

現在の設定でのサンプル 〇〇〇〇abc

- ・構成要素の出力順が変更される。

連番構成

No	構成要素	内容	操作
1	固定半角文字列	abc	
2	自動連番	○○○○○	

構成要素の出力順が変更される。  
固定半角文字列  **追加**

現在の設定でのサンプル abc○○○○○

- ・[変更]をクリックする

「(補足) 連番構成要素の追加方法」を参照

(補足) データ入力時のエラー表記について

作成したアプリを使用してデータを追加する場合、1項目で複数のエラーが出るデータを入力していても、表示されるエラーは1種類となる。エラーは上にあるデータ項目が優先して表示する。

(例) テキスト(1行)で書式にメールアドレスを指定し、文字数を10文字以上に設定。入力データが「sample」の場合、書式と文字数の両方がエラーとなるが、表示されるエラーはメールアドレスのもののみで、文字数に関するエラーは表示されない。

## 2.10 データ項目の削除

### 2.10.1 操作方法

- データベース名をクリックする。  
(「2.5.1 操作方法」参照)
- 削除する項目のチェックボックスをクリックする。



データベース設定  
21 sampleDB データ件数: 0 -- 更新

全般 データ項目 データ アクセス許可 チューニング 関連リンク

変更

データ項目	項目ID	項目名	必須	重複
D001 テキスト (1行) 氏名	D001	テキスト (1行)	必須	必須/任意
D002 テキスト 氏名 (ふりがな)		氏名	必須	○ 必須 ○ 任意
D003 テキスト (1行) 郵便番号			必須	○ 不可 ○ 可

※一番上のチェックボックスをクリックすると、すべての項目のチェックをオンまたはオフに変更する。

- [削除]をクリックする。



データベース設定  
21 sampleDB データ件数: 0 -- 更新

全般 データ項目 データ アクセス許可 チューニング 関連リンク

変更

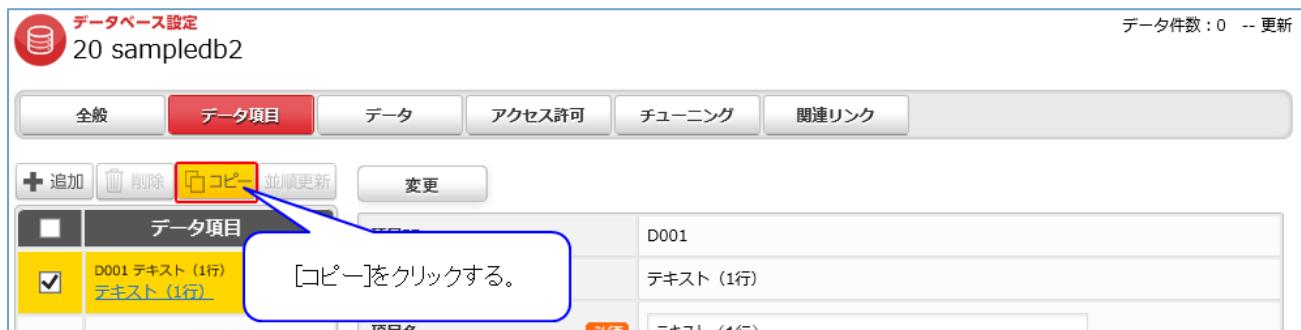
データ項目	項目ID	項目名	必須
D001 テキスト 氏名	D001	テキスト (1行)	必須
D002 テキスト (1行) 氏名 (ふりがな)		氏名	

※データベースを利用しているアプリが稼働中の場合、項目を削除することはできません。

## 2.11 データ項目のコピー

### 2.11.1 操作方法

- データベース名をクリックする。  
(「2.5.1 操作方法」参照)
- コピーする項目のチェックボックスをクリックする。  
(「2.10.1 操作方法」参照)
- [コピー]をクリックする。



- 「コピー[コピー元の項目名]」という名前でコピーが作成される



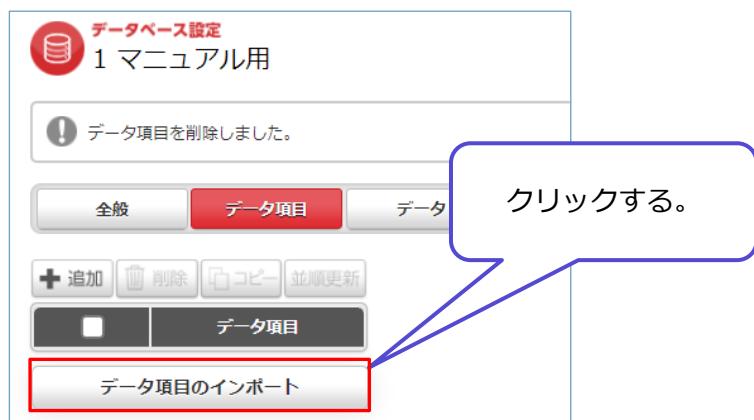
## 2.12 データ項目のインポート

### ○前提

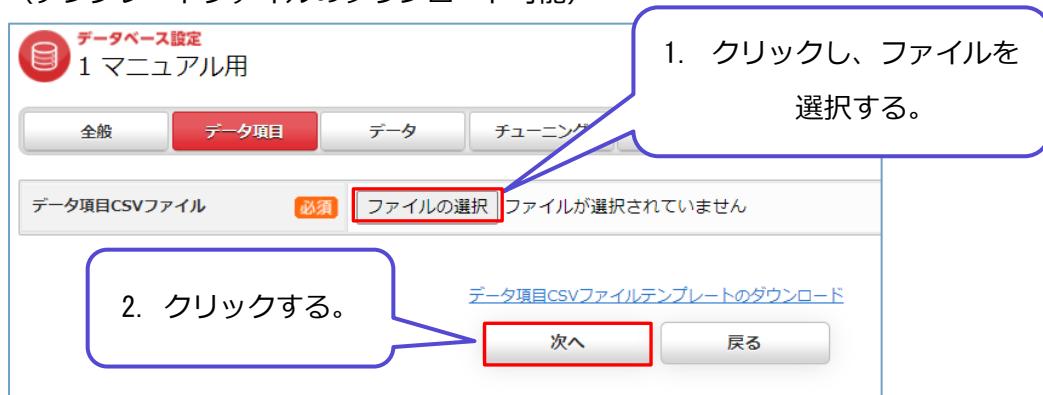
データ項目のインポート機能は、データベースに項目が1つも追加されていない状態の時のみ使用可能となる。

#### 2.12.1 操作方法

- [データ項目のインポート]をクリックする。



- データ項目名、項目種別が格納された CSV ファイルを選択し、[次へ]ボタンをクリックする。  
(テンプレートファイルのダウンロード可能)



テンプレートファイルは以下のようになっている。

(画像は途切れていますが、現状イット builder 内で選択可能なデータ項目が全て並んでいる)

	A	B	C	D	E	F
1	項目名	項目名	項目名	項目名	項目名	項目名
2	テキスト (1行)	テキスト (複数行)	数値	日付	一択選択	複数選
3						
4						

- ・項目名と項目種別を設定し、[インポート]をクリックする。

CSVファイルから以下の内容で読み込みました。内容を確認して上でインポートしてください。

データ項目名	項目種別
項目名	テキスト (1行) ▼
項目名	テキスト (複数行) ▼
項目名	数値 ▼
項目名	日付 ▼
項目名	択一選択 ▼
項目名	複数選択 ▼
項目名	ファイル ▼
項目名	自動連番 ▼
項目名	氏名 ▼
項目名	氏名 (ふりがな) ▼
項目名	郵便番号 ▼
項目名	都道府県 ▼
項目名	市区町村 ▼
項目名	番地 ▼
項目名	アパート・マンション名・号室 ▼
項目名	性別 ▼
項目名	電話番号 ▼
項目名	メールアドレス ▼
項目名	URL ▼

全ての設定完了後、クリックする。

※画像はテンプレートファイルをダウンロードし、編集なしでインポートしたもの。

- データベースへのインポートが完了すると、以下のように設定した内容が登録される。

データベース設定  
1 マニュアル用

全般	データ項目	データ	チューニング	関連リンク																		
<input type="button" value="追加"/>	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="コピー"/>	<input type="button" value="並列更新"/>																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>項目ID</td> <td>D002</td> </tr> <tr> <td>項目種別</td> <td>テキスト (1行)</td> </tr> <tr> <td>項目名</td> <td><input type="text" value="項目名"/></td> </tr> <tr> <td>必須/任意</td> <td><input checked="" type="radio"/> 必須 <input type="radio"/> 任意</td> </tr> <tr> <td>重複</td> <td><input checked="" type="radio"/> 必須 <input type="radio"/> 不可 <input type="radio"/> 可</td> </tr> <tr> <td>書式</td> <td><input type="button" value="指定無し"/></td> </tr> <tr> <td>文字種類</td> <td><input type="button" value="指定無し"/></td> </tr> <tr> <td>文字数</td> <td><input type="text"/> ~ <input type="text"/></td> </tr> </tbody> </table>					変更		項目ID	D002	項目種別	テキスト (1行)	項目名	<input type="text" value="項目名"/>	必須/任意	<input checked="" type="radio"/> 必須 <input type="radio"/> 任意	重複	<input checked="" type="radio"/> 必須 <input type="radio"/> 不可 <input type="radio"/> 可	書式	<input type="button" value="指定無し"/>	文字種類	<input type="button" value="指定無し"/>	文字数	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
変更																						
項目ID	D002																					
項目種別	テキスト (1行)																					
項目名	<input type="text" value="項目名"/>																					
必須/任意	<input checked="" type="radio"/> 必須 <input type="radio"/> 任意																					
重複	<input checked="" type="radio"/> 必須 <input type="radio"/> 不可 <input type="radio"/> 可																					
書式	<input type="button" value="指定無し"/>																					
文字種類	<input type="button" value="指定無し"/>																					
文字数	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>データ項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>D002 テキスト (1行) <input type="text" value="項目名"/></td> </tr> <tr> <td>D003 テキスト (複数行) <input type="text" value="項目名"/></td> </tr> <tr> <td>D004 整数 <input type="text" value="項目名"/></td> </tr> <tr> <td>D005 日付 <input type="text" value="項目名"/></td> </tr> <tr> <td>D006 挑一選択 <input type="text" value="項目名"/></td> </tr> <tr> <td>D007 複数選択 <input type="text" value="項目名"/></td> </tr> <tr> <td>D008 ファイル <input type="text" value="項目名"/></td> </tr> <tr> <td>D009 自動連携 <input type="text"/></td> </tr> </tbody> </table>					データ項目	D002 テキスト (1行) <input type="text" value="項目名"/>	D003 テキスト (複数行) <input type="text" value="項目名"/>	D004 整数 <input type="text" value="項目名"/>	D005 日付 <input type="text" value="項目名"/>	D006 挑一選択 <input type="text" value="項目名"/>	D007 複数選択 <input type="text" value="項目名"/>	D008 ファイル <input type="text" value="項目名"/>	D009 自動連携 <input type="text"/>									
データ項目																						
D002 テキスト (1行) <input type="text" value="項目名"/>																						
D003 テキスト (複数行) <input type="text" value="項目名"/>																						
D004 整数 <input type="text" value="項目名"/>																						
D005 日付 <input type="text" value="項目名"/>																						
D006 挑一選択 <input type="text" value="項目名"/>																						
D007 複数選択 <input type="text" value="項目名"/>																						
D008 ファイル <input type="text" value="項目名"/>																						
D009 自動連携 <input type="text"/>																						

## 2.13 データ項目の並順更新

### 2.13.1 操作方法

- ・データベース名をクリックする。  
(「2.5.1 操作方法」参照)
- ・入れ替える項目を入れ替える位置までドラッグする。

データベース設定  
20 sampledb2

データ件数: 0 -- 更新

全般 データ項目 データ アクセス許可 チューニング 関連リンク

変更

■	データ項目
<input type="checkbox"/>	D001 テキスト (1行) テキスト (1行)
<input type="checkbox"/>	D003 テキスト (複数行) テキスト (複数行)
<input type="checkbox"/>	D004 数値 数値
<input type="checkbox"/>	D005 日付 日付
<input type="checkbox"/>	D006 押し涅槃

項目をドラッグする。

項目ID	D001
項目種別	テキスト (1行)
必須	テキスト (1行)
必須	<input type="radio"/> 必須 <input checked="" type="radio"/> 任意
必須	<input type="radio"/> 不可 <input checked="" type="radio"/> 可
書式	指定無し
文字種類	指定無し

- ・[並順更新]をクリックする。

データベース設定  
20 sampledb2

データ件数: 0 -- 更新

全般 データ項目 データ アクセス許可 チューニング 関連リンク

並順更新

変更

■	データ項目
<input type="checkbox"/>	D005 日付 日付
<input type="checkbox"/>	D001 テキスト (1行) テキスト (1行)

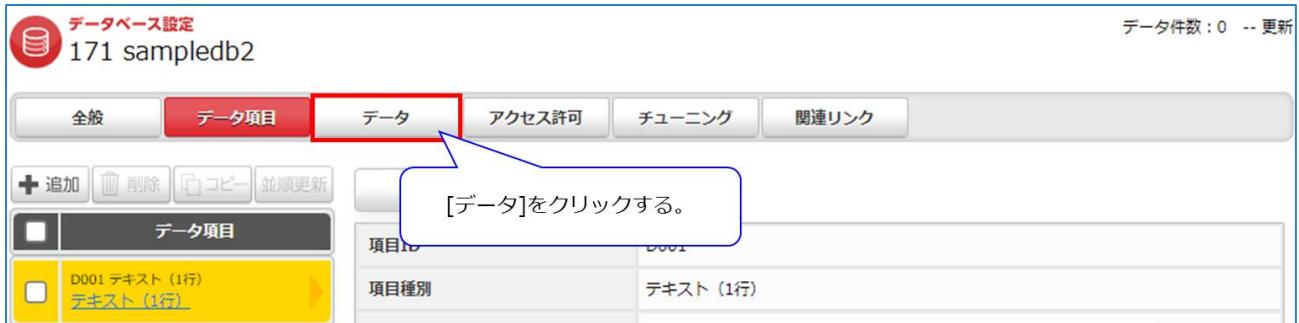
[並順更新]をクリックする。

項目ID	D001
項目種別	テキスト (1行)
必須/任意	<input type="radio"/> 必須 <input checked="" type="radio"/> 任意

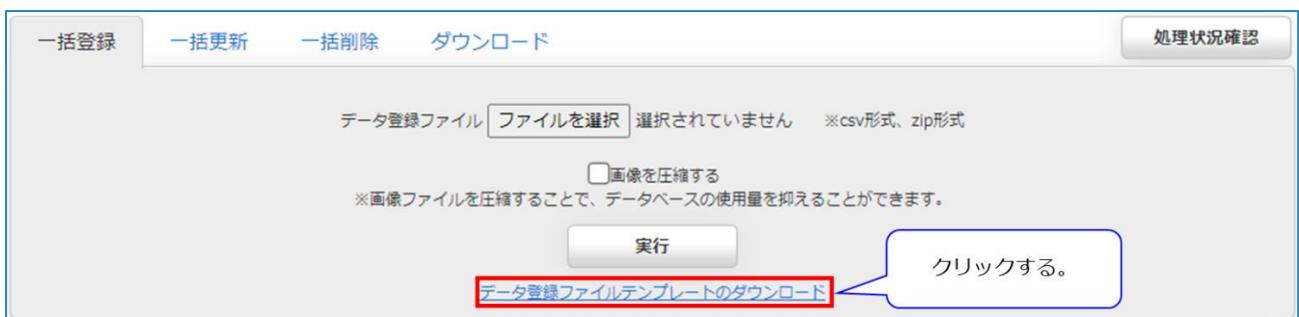
## 2.14 データの一括登録

### 2.14.1 操作方法

- ・データベース名をクリックする。  
(「2.5.1 操作方法」参照)
- ・[データ]をクリックする。



- ・[データ登録ファイルテンプレートのダウンロード]をクリックする。



- ・[データ登録ファイルテンプレートのダウンロード]からダウンロードした Template.csv の 2 行目以降に追加データを記述する。

※必要に応じて、ファイル名を任意に変更可。

- ・登録するデータファイルを指定し[実行]をクリックする。



(補足) データの一括登録で使用するファイルについて

登録するデータが記述された CSV ファイルか、CSV ファイルを梱包した ZIP ファイルであること。

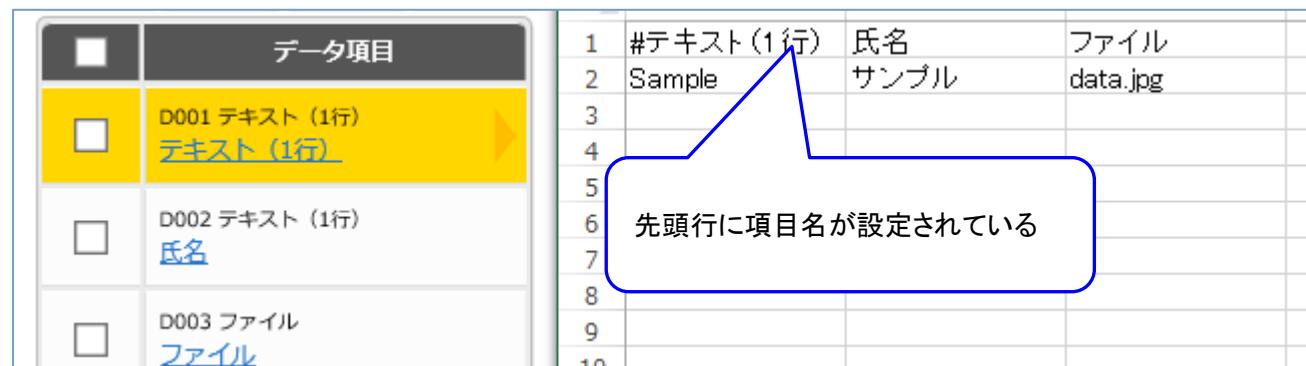
ZIP ファイルを使用する場合、CSV ファイルは ZIP の最上位階層に梱包されていること。

※各行先頭項目の半角シャープ「#」は行スキップを意味する予約語のため処理はスキップされる。

※項目種別 自動連番を登録する場合

CSV の指定が空欄の場合は、設定ルールに従い自動連番が登録される

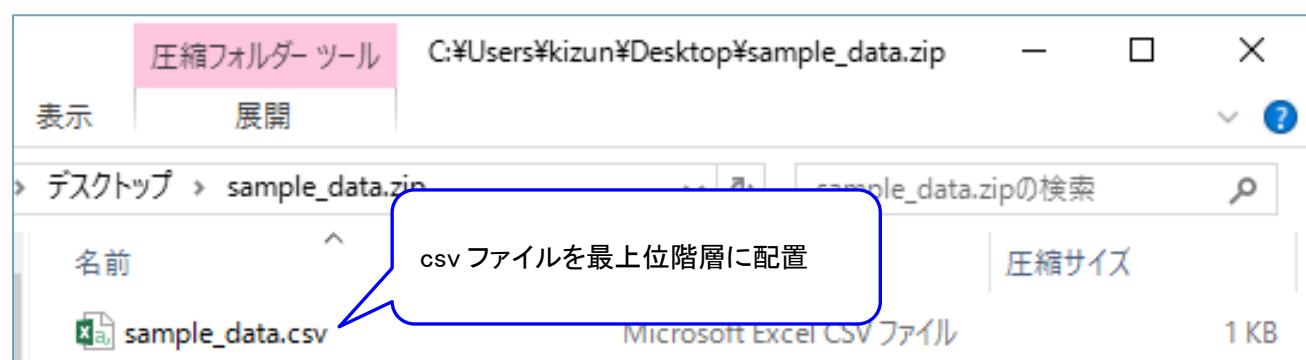
CSV に指定がある場合、設定ルールに関わらず、指定した値が登録される



データ項目			
	D001 テキスト (1行) テキスト (1行)		
	D002 テキスト (1行) 氏名		
	D003 ファイル ファイル		

1	#テキスト (1行)	氏名	ファイル
2	Sample	サンプル	data.jpg
3			
4			
5			
6		先頭行に項目名が設定されている	
7			
8			
9			
10			

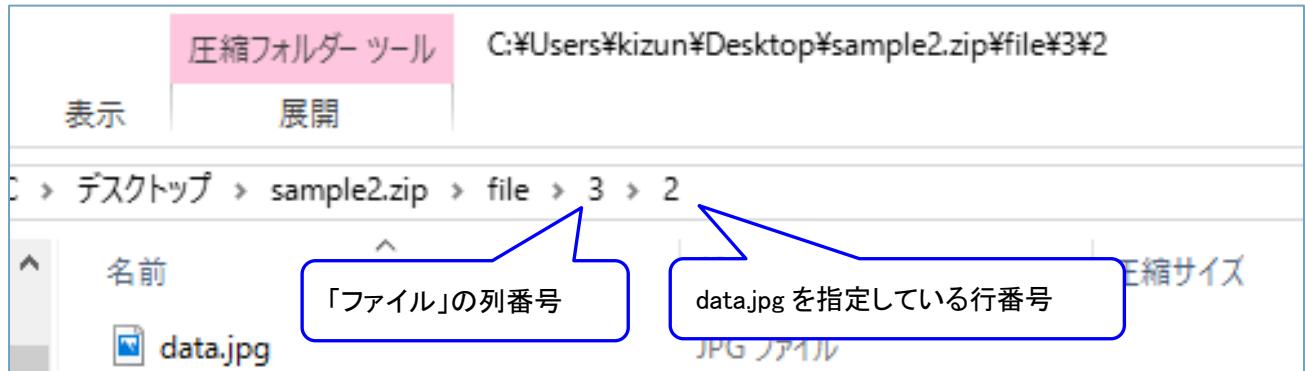


(補足) 項目種別 ファイルを登録する場合

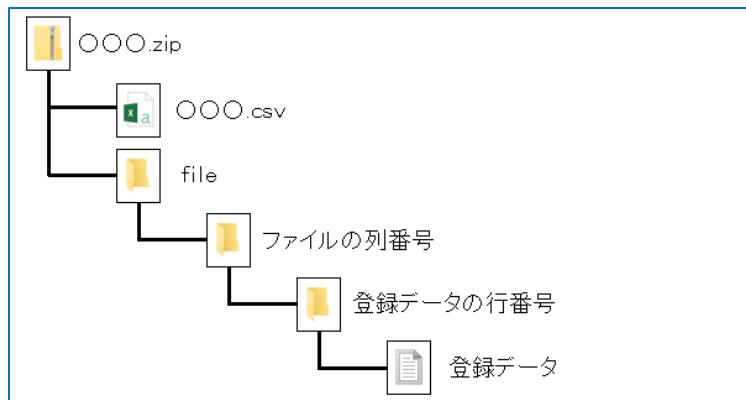
CSV ファイルと同じ階層に「file」というフォルダを作り、その中にファイルの列番号を名前としたフォルダを作成。さらにその中に行番号を名前としたフォルダを作成し、その中に登録するファイルを入れる（行番号は、先頭行も含めてカウントする）

	A	B	C	D
1	#従業員コード	氏名	顔写真ファイル	
2	C00999	鈴木園子	data.jpg	
3				

下図は、上記 CSV における data.jpg を登録するフォルダ構成を示している。



登録データの ZIP ファイルの中身は以下の構成となる。ファイルが複数存在する場合、その数だけファイルの列番号のフォルダや、登録データの行番号のフォルダを増やして対応する。



また、ファイル名に利用する文字は基本的に半角英数記号文字とする。

日本語を含むファイル名を利用する場合、UTF-8 エンコードに対応したアーカイバ（7zip、PKZIP、WinRAR など）を用いて圧縮する必要がある。

(補足) 画像を圧縮する場合

「画像を圧縮する」にチェックを入れて実行する場合、画像ファイル（jpg、jpeg、png、gif、bmp、wbmp）に圧縮処理を行う。オリジナルファイルに比べ画質は落ちるが、ファイルサイズを落として画像を保存することができるため、データベースの使用量を抑えることができる。



一括登録 一括更新 一括削除 ダウンロード 処理状況確認

データ登録ファイル [ファイルを選択](#) 選択されていません ※csv形式、zip形式

**画像を圧縮する**

※画像ファイルを圧縮することで、データベースの使用量を抑えることができます。

**実行**

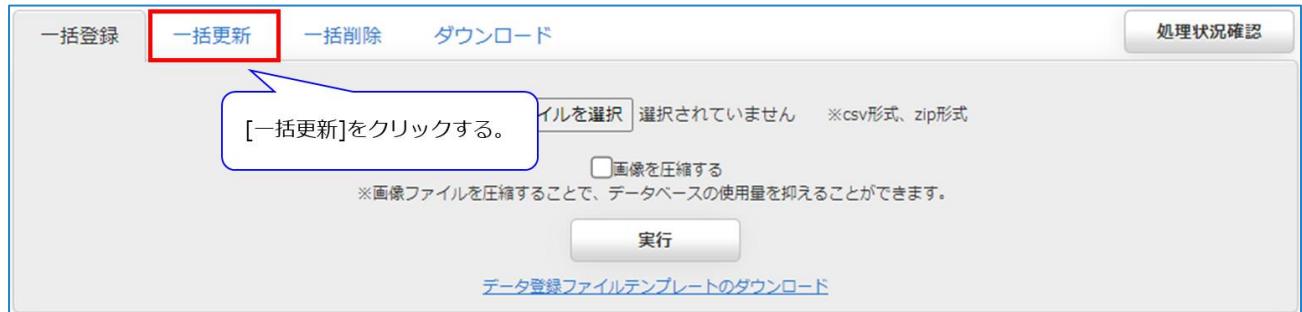
[データ登録ファイルテンプレートのダウンロード](#)

## 2.15 データの一括更新

### 2.15.1 操作方法

データの更新はデータ ID が一致するデータに対して行単位で行われる。データ ID とはデータ登録時に各データに自動で付番する連番である。データ ID は「2.18 データのダウンロード」でダウンロードした CSV ファイルで、確認できる。更新 CSV は、ダウンロードした CSV ファイルを修正し作成する。

- ・[一括更新]をクリックする。



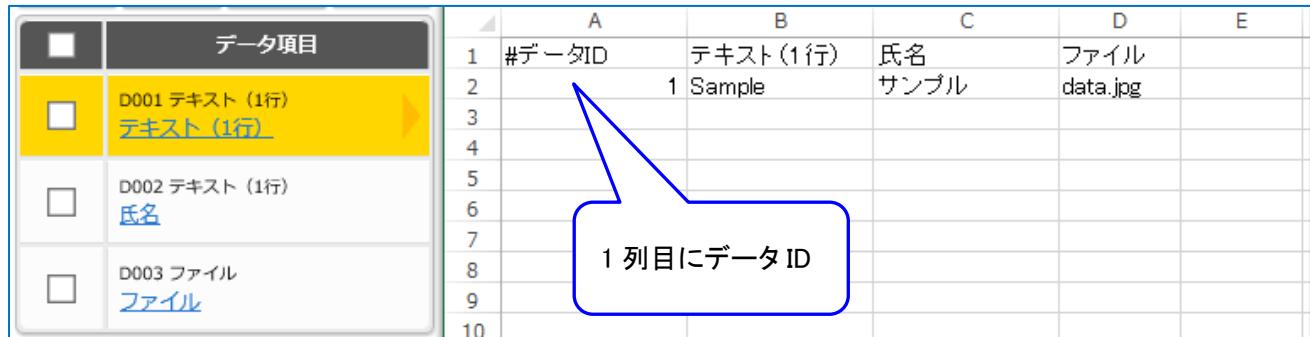
- ・更新するデータファイルを指定し[実行]をクリックする。



(補足) データの一括更新で使用するファイルの書式

次の条件をすべて満たす必要がある。

- ・更新するデータが記述された CSV ファイルか、CSV ファイルを梱包した ZIP ファイルである
- ・ZIP ファイルを使用する場合、CSV ファイルは ZIP の最上位階層に梱包されていること。



	A	B	C	D	E
1	#データID	テキスト(1行)	氏名	ファイル	
2	1	Sample	サンプル	data.jpg	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※更新しないデータ ID の行は CSV ファイルに記述する必要はない、削除する

※項目に空白を指定すると、項目のクリアとなる

※項目種別 自動連番を登録する場合

CSV の指定が空欄の場合は、必須項目エラーとなる

CSV に指定がある場合、設定ルールに関わらず、指定した値が格納される

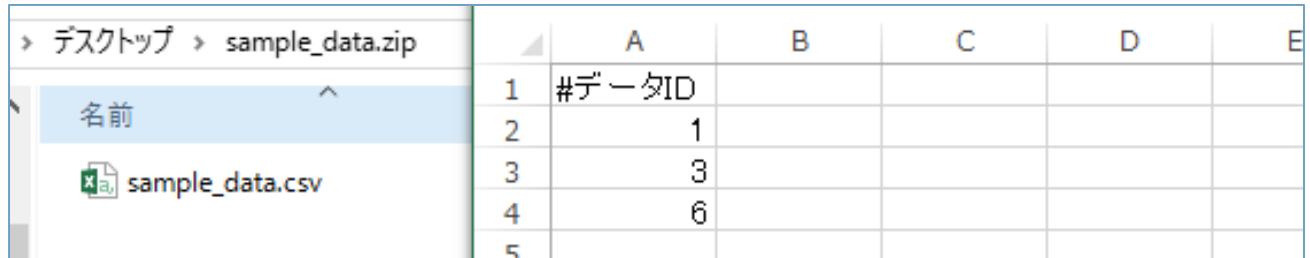
※項目種別 ファイルを登録する場合

一括登録と同じ方法で、file フォルダを作成し、ZIP ファイルで更新する

## 2.16 データの一括削除

### 2.16.1 操作方法

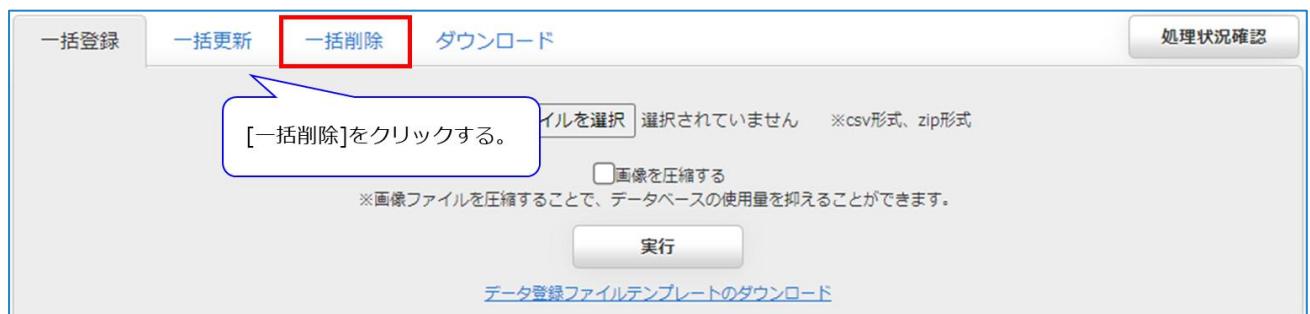
データの削除はデータ ID が一致するデータに対して行単位で行われる。データ ID とはデータ登録時に各データに自動で付番する連番である。データ ID は「2.18 データのダウンロード」でダウンロードした CSV ファイルで、確認できる。削除 CSV は、ダウンロードした CSV ファイルを修正し作成する。



名前	A	B	C	D	E
sample_data.csv	1 #データID	1			
	2	3			
	3	6			
	4				
	5				

※図に示すように、データ ID 列のみでなく、データ項目列をそのまま残した CSV でもよい。

- ・[一括削除]をクリックする。



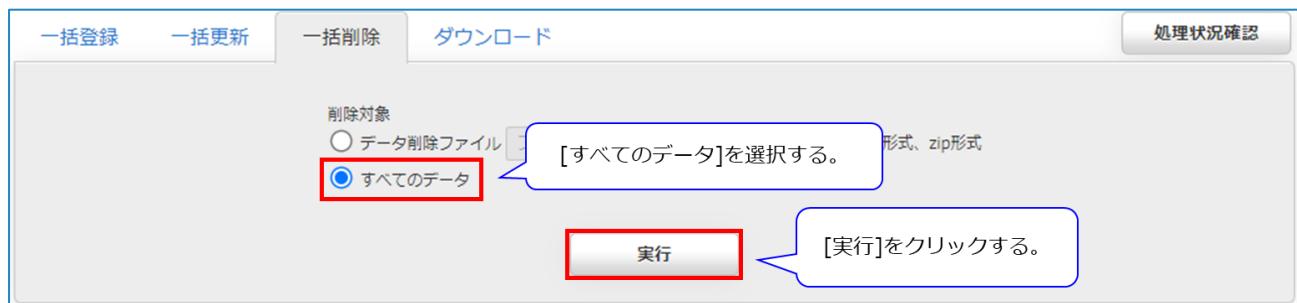
- ・[データ削除ファイル]を選択し、削除ファイルを指定して[実行]をクリックする。



(補足) データの一括削除で使用するファイルの書式

データの削除ファイルには削除するデータが記述された CSV ファイルか、CSV ファイルを梱包した ZIP ファイルを指定する。

- すべてのデータを指定する場合、[すべてのデータ]を選択して[実行]をクリックする。



当該データベースのすべてのデータが削除される。

## 2.17 一括処理状況確認

データの一括登録、一括更新、一括削除の処理状況を確認することができる。処理前の要求に対してはキャンセルすることができる。

### 2.17.1 操作方法

- ・処理状況確認ボタンをクリックする。



- ・一括処理状況確認画面がポップアップ表示される。

処理状態	グループ	名称	種別	処理	ファイル名	ファイルサイズ (KB)	アカウント	登録日時	キャンセル
処理中	2 サンプルグループ	171 sampledb2	データベース	登録	sample_data.csv	965.8	アカウント1	2023/02/24 11:11:50	
処理待ち				登録		152.9		2023/02/24 11:14:39	
処理中	2 サンプルグループ	3 sampleuser3	ユーザーマスター	更新	update.csv	5.5	アカウント3	2023/02/24 11:17:03	
処理待ち	2 サンプルグループ	171 sampledb2	データベース	削除	delete_data.zip	1.7	アカウント1	2023/02/24 11:20:47	キャンセル
処理待ち				登録		358.4		2023/02/24 11:25:24	
処理中				削除		2.2		2023/02/24 11:29:29	
処理待ち				登録		43.2		2023/02/24 11:34:05	
処理待ち				更新		18.7		2023/02/24 11:48:24	

## 2.17.2 項目説明

項目名	説明
処理状況	一括処理の処理状況。「処理待ち」または「処理中」。
グループ	一括処理対象のデータベースが属するグループ。利用者自身が属するグループ以外は非表示。
名称	一括処理対象のデータベース。利用者自身が属するグループ以外は非表示。
種別	一括処理対象の種別。「データベース」または「ユーザーマスター」。利用者自身が属するグループ以外は非表示。
処理	処理の種類。「登録」、「更新」または「削除」。利用者自身が属するグループ以外は非表示。
ファイル名	アップロードしたファイル名。利用者自身が属するグループ以外は非表示。
ファイルサイズ (KB)	アップロードしたファイルのファイルサイズ。
アカウント	一括処理を登録したアカウント名。利用者自身が属するグループ以外は非表示。
登録日時	一括処理を登録した日時。
キャンセル	キャンセルボタン。処理状況が「処理待ち」の場合キャンセルできる。利用者自身の一括処理のみボタンが表示される。

※システム管理グループで表示した場合、すべてのグループの情報閲覧とキャンセルが可能。

### (補足) データ操作の通知

データの一括登録、更新、削除を行い処理が完了すると、ダッシュボードに処理の結果を表示します。



エラーが発生した場合、エラーメッセージを表示します。

The screenshot shows two 'Dashboard' windows side-by-side. Both windows have a message box with the title '通知メッセージ' (Notification Message) and the message text 'データ一括登録処理が完了しました。' (Data batch processing completed). Below the message is a table with the following data:

結果	エラーデータあり
メッセージ	<a href="#">一括登録正常終了(入力チェックによりエラーとなつたデータが存在しました)</a>
データベース	<a href="#">[2] sampleDB</a>
処理開始日時	2016/09/20 10:49
処理終了日時	2016/09/20 10:49

The second window shows a similar structure but with a different error message:

結果	失敗
メッセージ	<a href="#">[E-A06-0012] CSVファイルが存在しない、または複数存在するため処理できませんでした。</a>
データベース	<a href="#">[2] sampleDB</a>
処理開始日時	2016/09/20 10:51
処理終了日時	2016/09/20 10:51

左図のようにエラーメッセージがリンクになっている場合、リンクをクリックすることで、実際にデータの一括処理に使用したファイルとエラーが記載された `error.csv` が保存されたディレクトリを開きます。`error.csv` を右クリックし、ダウンロードするとエラーの詳細を確認できます。

ファイル一覧

Webコンテンツ データ ログ

利用容量: 1.214MB



```
log/
  access
  audit
  data/
    database
    2/
      20160920104907479_285/
        error.csv
        sample_data.csv
  usermaster
```

error.csv にはエラーになったデータのみが記載される。

記載されていないデータは、正常登録されている。

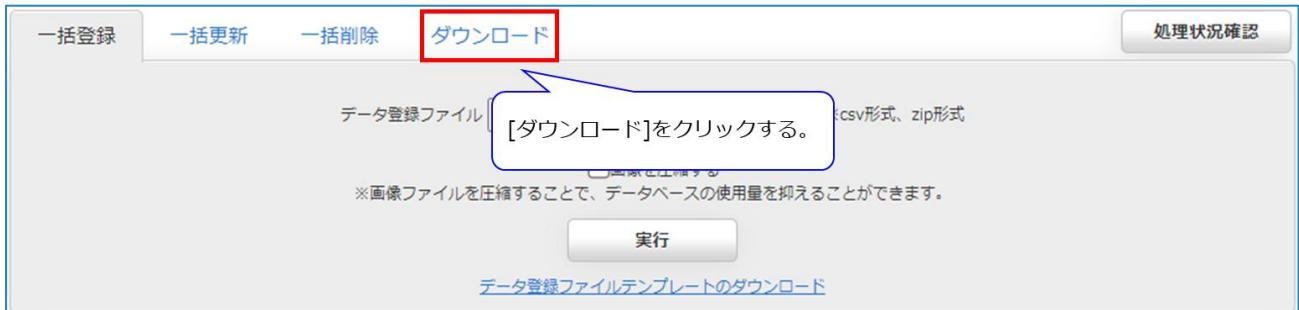
	A	B	C	D	E
1	従業員コード	氏名			
2		山田ハナコ	[1]:必須入力チェックエラー		

エラー情報は最後のデータベース項目の隣の列に記載されます。上図の例ではデータベース項目は2つあるため、3列目にエラー情報が記載されています。「[ ]」で囲まれている数値はエラーが出た列番号を表しており、上図では2列目の1項目目が必須入力項目なのに空欄のためエラーが発生していることを示している。

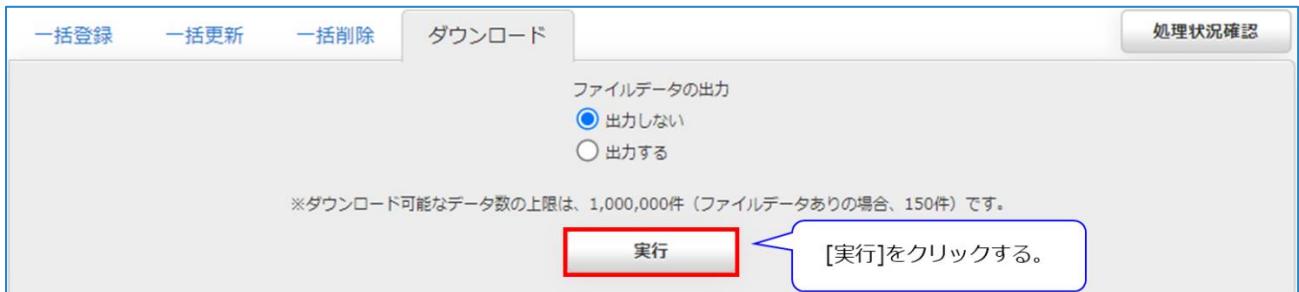
## 2.18 データのダウンロード

### 2.18.1 操作方法

- ・[ダウンロード]をクリックする。



- ・出力しない or 出力するを選択して、[実行]をクリックする。



※ダウンロード可能なデータ数の上限は、利用環境により異なる。

※ファイル項目の出力結果は、「2.14 データの一括登録」で説明したファイル構造となる。

- ・データベース内容を記載した CSV ファイルが出力される。

CSV ファイルには、ユーザーが追加したデータ項目の他にデータ ID、登録者、登録日時、最終更新者、最終更新日時が出力されている。

	A	B	C	D	E	F	G
1	#データID	ユニット名	部・室名	登録者	登録日時	最終更新者	最終更新日時
2		1 戰略ユニット	経営戦略室	山田太郎	2021/11/10 15:32	河合豊	2021/11/19 15:32
3		2 戰略ユニット	業務監査室	山田太郎	2021/11/10 15:32	山田太郎	2021/11/10 15:32

※上図の場合

データ ID : 1 のデータは、山田太郎が新規登録し、河合豊が更新したことを示す。

データ ID : 2 のデータは、山田太郎が新規登録後、更新されていないことを示す。

※登録者、最終更新者

CSV でのデータ操作により登録・登録された場合は、管理者画面へのログイン者名になる。

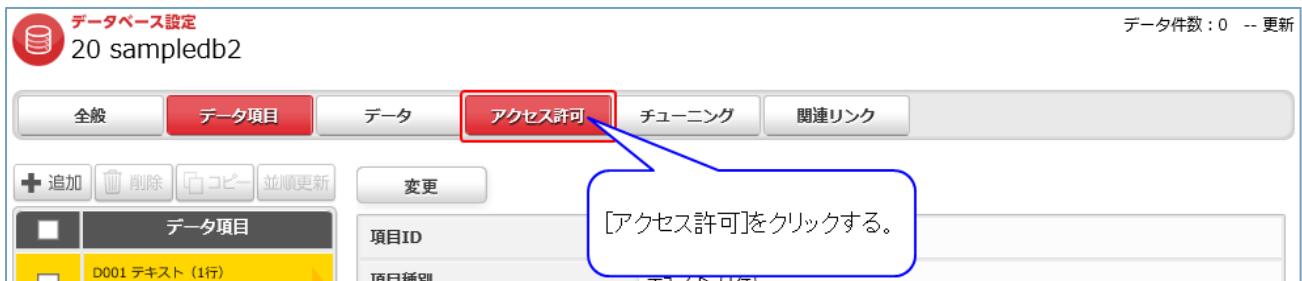
ログイン機能を持った Web アプリで登録・更新された場合は、ログインユーザー名になる。

ログイン機能を持たない Web アプリで登録・更新された場合は、空欄になる。

## 2.19 アクセス許可

### 2.19.1 操作方法

- ・データベース名をクリックする。  
(「2.5.1 操作方法」参照)
- ・[アクセス許可]をクリックする。



※データベースのアクセス許可設定が設定不可になっている場合、アクセス許可の項目が表示されないため設定できません。この場合、グループ内のすべてのデータベースは他グループにアクセス許可をしない設定です。変更したい場合はシステム管理者にお問い合わせください。

- ・項目を選択し[変更]をクリックする。



## 2.20 チューニング

チューニングではデータベースのインデックスの作成を行います。

インデックスを簡単に説明すると、対象データ項目のみを抜き出し高速に検索できるように変更して保存したものです。データベースに多くのデータ項目が含まれている場合や大量のデータが格納されている場合、データベースから特定のデータを検索しようとすると非常に時間がかかる場合があります。このような場合に適切なデータ項目にインデックスを作成しておくことで検索が高速になる場合があります。ただし、多くのインデックスを作成した場合、データを追加するたびにテーブルに加えてインデックスにデータを追加する必要があるため、データ追加時の処理が遅くなります。また、検索条件として指定されている項目でインデックスを作成しないと効果はありません。

### 2.20.1 操作方法

- ・データベース名をクリックする。  
(「2.5.1 操作方法」参照)
- ・[チューニング]をクリックする。



- ・インデックスを追加する項目を選択し[追加]をクリックする。



※上図ではインデックスの追加に使用する項目を2つ指定していますが、使用する項目は1つでもインデックスを作成可能です。

- 削除するインデックスの[×]をクリックする。

インデックス	
1	D001 テキスト (1行)
2	D002 必須テキスト

## 2.21 関連リンク

### 2.21.1 操作方法

- データベース名をクリックする。  
(「2.5.1 操作方法」参照)
- [関連リンク]をクリックする。

データベース設定					
20 sampledb2	データ件数: 0 -- 更新				
全般	データ項目	データ	アクセス許可	チューニング	関連リンク
<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="削除"/> <input type="button" value="コピー"/> <input type="button" value="並順更新"/> <input type="button" value="変更"/>					
■	データ項目	項目ID	D001		

- データベースを利用しているアプリを表示する。

データベース設定					
20 sampledb2	データ件数: 0 -- 更新				
全般	データ項目	データ	アクセス許可	チューニング	関連リンク
以下のアプリで利用されています。					
アプリ	15 sample0001				

※アプリで利用していない場合、「利用しているアプリはありません。」と表示する。